

## 新病院の船出

社会医療法人喜悦会  
ちくし那珂川病院  
院長 **渡邊昭博**



さる3月1日新病院へ患者さん19名とともに大移動。ひとつ丘を越え約10km離れた新天地に無事たどりつきました。同時に二日市共立病院が旧病院に移転するという難事業も無事成功となりました。これを支えた喜悦会のみなさま本当にお疲れ様でした。準備はとても大変でしたね。

新病院ではなにもかも新しい、夢のような世界。ひろびろとした快適な病室、窓から眺める背振山系のみずみずしい緑とどこまでも青い空に患者さんたちも別世界に来たような表情でくつろいでおられたようです。晴れても降っても自然のすばらしさを感じることができます。

私たちの今後の課題はソフト面の充実です。喜悦会の夢と希望がつまったすばらしい建物にふさわしい医療をだれもが期待するものです。さらに一段階上がった医療を提供していかなばなりません。すべてが新しくなった医療機器を最大限に活用したり、感染対策、医療安全など危機管理体制

を練り直す必要もあります。まだまだ外来患者さんは少ないですが、着実に入院も増えてきています。まず患者さんや家族を笑顔で温かく迎えること、気持ちに配慮した医療を提供すること。そんな思いやりのある医療を提供していけば、新病院は必ず良い方向に行くと思います。まじめで責任感が強い高橋事務長、おだやかに仕事をこなす松隈看護部長と力を合わせて良い方向に向かえるよう私もがんばっていきます。皆さんも前を向いてがんばりましょう。

時はコロナ戦争のまっただ中。これに日本国民が打ち勝てるよう、私たちも出来ることをする。それが私たち医療者の使命です。当院でも新型コロナウイルス患者やコロナ感染後の患者も受け入れを開始しました。みんなで頑張っていきましょう。あと少しですよ。



# 二日市共立病院は

# 二日市那珂川病院に

# 改名いたしました

社会医療法人 喜悦会二日市那珂川病院

院長 **重松 明博**

当院は、令和3年3月より「社会医療法人喜悦会二日市那珂川病院」と病院名を変更し（旧名 二日市共立病院）、これまで「ちくし那珂川病院」が使用しておりました建物・設備を使用して診療を行わせていただいております。

医師スタッフにつきましては、有田正秀（総合内科専門医・日本消化器病及び消化器内視鏡学会専門医）が副院長とし

て着任しております。また非常勤医師についても、消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・糖尿病内科の各専門の医師が、毎週1日終日勤務をして入院・外来の患者対応に当たってもらっています。

入院病床の種別につきましては、病床総数50床のうち、地域包括ケア病床16、療養病床34として運営を行っております。

リハビリテーションに関しても、運動器リハビリテーション2の基準を取得して、4名のリハビリ職員（理学療法士3名、作業療法士1名）で運用させていただいております。検査部門についてはCT検査機器の導入、臨床検査技師の常駐で呼吸機能検査などを含む生理機能検査や血液検査も院内でリアルタイムに測定できる体制を整えております。

今後とも更なるご指導・ご教示を賜ります様に、どうぞ宜しくお願い致します。

## 基本理念

思いやりの心を大切に日々努力してまいります。

患者さん、社会に、奉仕できる喜びを力にして進んでまいります。



# 新任医師紹介

## ちくし那珂川病院

副院長

### 和田 寛也



#### 専門分野

一般外科、消化器外科、内視鏡外科(日本内視鏡外科学会 評議員)、ヘルニア外科(日本ヘルニア学会評議員)

#### 主な職歴

済生会八幡総合病院 外科部長、松山赤十字病院 外科部長、済生会くれたけ荘施設長、福岡通信病院 副院長・外科部長、福岡歯科大学 外科講師、みつい介護老人保健施設 施設長

はじめまして、「新築新装開店のちくし那珂川病院において外科を立ち上げる」目的で、令和3年4月1日に着任しました和田寛也です。いまだに準備中の状態で、立派な手術室で局所麻酔下の手術(皮下腫瘍摘出)を数例行った程度です。

専門は消化器外科ですが、ライフワークとして腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術を長年研究してきましたので、技術を伝承するためにもできれば手術を再開したいと願っていますが、実際に当院で行うのが難しいのであれば那珂川病院で実現できればと期待しています。

介護老人保健施設長の経験があり、地域包括病棟や療養病棟からなる当院の診療にも役立つものと考えております。自分にできることを精一杯やっていく所存ですので、今後ともよろしくお願いいたします。

**資格** 日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医、日本内視鏡外科学会技術認定(ヘルニアTEP)

### -ちくし那珂川病院に赴任して-

2021年4月1日から、ちくし那珂川病院に勤務することになりました。ちくし那珂川病院には内科、消化器内科、呼吸器内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、リハビリテーション科などの外来専門とともに入院施設として「地域包括ケア病棟」と「療養病棟」があります。

小生は他の医療機関で一般外科・消化器外科に30年以上従事した後、5年間ほど亜急性期・回復期を診る回復期リハビリテーション病棟を担当しました。改善見込みが高い方が入る回復期リハビリテーション病棟は高齢者であってもほとんどが自宅や自宅相当の介護施設へ退院していきます。

「療養病棟」は何らかの医療が必要なために在宅や施設での生活が困難な方が在宅復帰を目指して療養するところです。一方、地域包括ケア病棟は「地域包括ケアシステム」において高度急性期医療や一般急性期医療を受けた後、引き続き入院が必要な、いわゆるポストアキュートの方や重装備な急性期医療までは必要ないが、在宅や介護施設などで病状が急性増悪されたいわゆるサブアキュートの方などにリハビリテーションを伴う高齢者入院医療を提供する役割を持っています。

かつて急性期医療、回復期医療に従事していた時は退院時の患者さんのその後の状況が気になりながら、退院調整を行っていたのが実情ですが、地域包括ケア医療では医師・看護師・介護士・リハビリ・ソーシャルワーカーなど多職種による連携で入院調整を行う退院後の状況にも十分気を配ることが可能です。

今回、縁あって、ちくし那珂川病院で働くことになり福岡市南部・那珂川市の地域包括ケア医療に貢献したいと考えております。

## ちくし那珂川病院

### 城崎 洋



#### 専門分野

一般外科・消化器外科

## 二日市那珂川病院

副院長

### 有田 正秀



#### 出身地

熊本県八代市

#### 出身大学

産業医科大学

#### 専門分野

内科、消化器内科

#### 診療方針

患者様へ最善の医療提供を目指します

#### 趣味

ドラム演奏、ヨット

産業医科大学1期生です。大学卒業後大学院(薬理学)に進学、神経内分泌の研究をしました。

大学院卒業後は福岡大学筑紫病院消化器内科(八尾教授)に入局、福岡市医師会成人病センター勤務後、有田内科消化器科開業。

ヨットで地中海まで行く夢を実現すべく、クリニックを義理の弟に譲り、2013年福岡を出港、東京到着後に縁あって、聖マリアンナ医科大学東横病院消化器科で講師を2年ほど勤め、2015年5月東京よりハワイ滞在3日で台風に揉まれながら日本にヨットで帰りました。

夢はハワイ往復で終わりましたが、その後那珂川病院内視鏡業務の非常勤医師として勤務させていただきました。仕事以外にもスタッフとの懇親会、病院旅行、バンド活動など大変楽しい時間を過ごすことができました。御礼申し上げます。

今年より年金生活に入る予定でしたが重松院長に誘われ、本年3月より二日市那珂川病院勤務となりました。非力ですが病院発展に尽くしたく存じますので、宜しくよろしくお願いいたします。

## 1年を振り返って

緩和医療 医師 竹内 亮



こんにちは 那珂川病院2年目の竹内です。

1年間は皆さんと同じようにSARS-CoV-2（いわゆる新型コロナウイルス）に翻弄された1年でした。今思えば最初は1月末にあったライブに行く途中博多駅からサンパレスまでのコンビニでマスクが手に入れられなくなっていたことでした。

これは大変なことになるかもと漠然と感じていましたが、自然の脅威を実感するのはまだまだ先のことでした。

ウイルスは目に見えず、さらに見えないことは恐怖を増長します。しかもテレビでは患者さんが増えたとか死者が何人とかばかりで、先の見通しが全く見えなくなることばかり。会議ではある病院の緩和ケア病棟がコロナ病棟にせざるを得なくなったという報告。

本当に幸いなことに那珂川病院では、COVID-19の発生もなく1年間が無事過ぎました。これも患者さん達そのご家族、スタッフのおかげと感謝しても感謝しきれません。

でも、緩和ケアで一番大事かもしれない「そばに居る」ということが難しくなりました。治す医療が難しくなってきた患者さんにそばに居ることでも少しでも楽になってもらうことがとても難しくなっていました。

体の痛みはお薬でどうにかできますが、心の痛みは薬では良くなりません。「(治すために)する医療」から「(そばに居る医療)への切り替えが必要です。そばに居ればわかることでも、離れざるを得ないと見えなくなってきました。

見えなくなると不安が心を折ります。その不安を少しでも減らそうと面会制限の緩和や在宅療養への変更、リモートの活用など手探りの1年でした。

また、春になりました。また新しい1年が始まりました。今日も明日も前と違う1日です。楽しいこと悲しいこといろいろあると思います。まずは今日から進んでいきましょう。どうしようと迷った時、自分たちはここにいます。側にできるだけ居たいと思います。

お腹の中から思いっきりピアノッシモで「ここにいるよー」。

## 緩和ケア統計2020年 (1月1日~12月31日)

入院相談	368件	
緩和ケア病棟(定数24床)		
入院件数	329件(255名)	
退院件数	331件(257名)	
平均在院日数	26日	
1日平均患者数	20.8名	
在宅ケア	96名	
在宅看取り	21名	
緩和ケア病棟入院患者255名の内訳		
年齢	33~99歳(平均:76歳)	
男女比	133名:122名	
疾患名	肺癌	54
	膵癌	23
	胃癌	22
	大腸癌	20
	直腸癌	18
	肝癌・肝内胆管癌	15
	子宮癌	12
	食道癌	8
	乳癌	6
	悪性リンパ腫	5
	卵巣癌・卵管癌	5
	前立腺癌	5
	胆嚢・胆管癌	4
	その他	55
紹介元の医療機関	九州がんセンター	78
	福岡赤十字病院	25
	九州大学病院	16
	福岡徳洲会病院	16
	九州中央病院	6
	福岡大学病院	6
	その他	52
	患者住所	福岡市南区
春日市		45
那珂川市		39
大野城市		21
福岡市(南区以外)		18
太宰府市		12
その他		15

# ボランティアだより

ボランティアコーディネーター 山下公子

毎年2月の節分を過ぎると、談話室にお雛様を飾ります。

このお雛様は、2013年に患者さんのご家族から頂いたものです。

「生まれた時に買ってあげられなかったから」と20歳位の時にお母さんが買ってくださった、思い出深い大切なお雛様なのだと伺いました。

当時13歳位だった妹さんが、飾り方の説明書に片付けがしやすい様にでしょうか、番号を書き入れ、端にかわいい似顔絵も描いてあって、和やかなご家族の光景が目浮かぶようです。

寄贈いただいた娘さんはボランティアスタッフとしても活動して下さっていました

ので、他のボランティアさんと一緒に飾り付けから片付けまでお願いしていましたが、ボランティア活動休止により、昨年より慣れないながら病棟のスタッフで飾っています。

今年は、ご入院中の患者さんに教えていただきながら行いました。その患者さんも毎年1人で飾っておられたそうで、「やっぱり皆で飾ると早いわね」と懐かしそうにおっしゃっていました。

お雛様を通して、色々なご家族の歴史を垣間見ることができました。

今年も華やかなお雛様が春を運び、癒しを与えてくれました。

そして、ボランティアさんの変わりを担って下さっているのかもしれない。





## 新型コロナウイルス(COVID-19)対策における安全管理室の取り組み

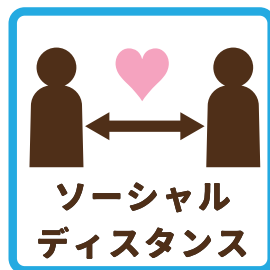
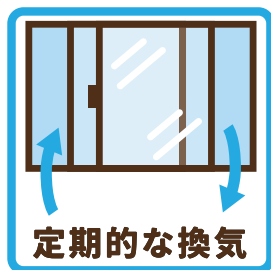
2020年1月から始まったCOVID-19対策は、今年2度目の夏を迎えようとしています。

第1波では情報収集に始まり、マスクなどの防護備品調達や入館制限、臨時診療エリアの準備・稼働と毎日が怒濤のように過ぎていきました。いかにして安心して当院を利用していただけるか、職員を守る事ができるのか何度も話し合いを重ね、その都度改善して参りました。

第2・3波では1波の時に始めたことを、より良くするために現在も毎週会議

で確認しています。そして今、第4波と言われる状況になってきています。ウイルスも変異し、感染力も強くなっているようです。しかし、私たちにできることは職員1人1人が自覚を持って、できる限りの対策を行っていくことが感染予防に大切なことと考えます。

日本全国で感染者が増えている状況の中でも、地域の皆様には安心してご来院していただけるように職員一同感染予防に邁進していきたいと思っております。



那珂川病院

■午前(診察時間/9:00~12:00) ※1 受付11時まで

診察室	月	火	水	木	金	土
診察室1	朔(第4のみ) (循環器内科)		保田(完全予約) (糖尿病内科)	細谷(内科)	永田(完全予約) (糖尿病内科)	片桐(第2・4のみ) (脳神経外科)
診察室2	立元(内科・禁煙外来)	立元(内科・禁煙外来)	安藤(循環器内科)	安藤(循環器内科)	森戸(循環器内科)	棚橋(第2・4・5のみ)
診察室3	筒井(内科)	今泉(循環器内科)	佐々木(内科)	藤澤(腎臓内科)	筒井(内科)	内科当番医
診察室5		池田(外科)	真田(外科)	池田(外科)	真田(外科)	外科当番医
診察室6	吉野(第1・3・5) 栗山(第2・4) (外科)	吉村(外科)	井上(麻酔科)	大村(脳神経外科)	吉村(外科)	瀬尾(第3のみ) (外科)
診察室7	大村(脳神経外科)			古田(外科)	ラウ(緩和ケア)	
診察室8	※1 齊田(整形外科)	月江(緩和ケア)	※1 齊田(整形外科)		※1 齊田(整形外科)	
診察室10		齋藤(泌尿器科)		齋藤(泌尿器科)		

■午後(診察時間/13:00~17:00) ※2 完全予約

診察室	月	火	水	木	金	土
診察室1		細谷(内科)	※2 保田(糖尿病内科)		細谷(内科)	
診察室2	安藤(循環器内科)				富田(循環器内科)	
診察室3			立元(内科・禁煙外来)	筒井(内科)		
診察室5	真田(外科)	真田(外科)			行實(血管外科)	
診察室6	吉野(第1・3・5) 栗山(第2・4) (外科)		大村(脳神経外科)	吉村(外科)		当番医
診察室7	ラウ(緩和ケア)	野中(脳神経外科)	古田(外科)	月江(緩和ケア)	池田(外科)	
診察室8			竹内(緩和ケア)			
診察室10		泌尿器(担当医)(要予約)			齋藤(泌尿器科)	

■診療時間 平日 9:00~17:00/土曜日 9:00~12:00

■休診日 日曜・祝祭日・年末年始(12/31~1/3)  
※急患はその限りではありません

■住所 福岡市南区向新町2-17-7  
TEL:092-565-3531 FAX:092-566-6460

■交通アクセス 西鉄バス系統番号3番・4番・47番・48番・49番・60番・61番・62番・600番台・W1-W3「那珂川病院前」下車すぐ

■駐車場150台



ちくし那珂川病院

診察時間(平日9:00~12:00/13:00~17:00 土曜日9:00~12:00)

診療科	月	火	水	木	金	土
内科	午前 重本	松村		松永		当番医
消化器内科・外科	午前 渡邊	和田	渡邊	城崎	野間・和田	当番医
呼吸器内科・外科	午前 横山	横山				当番医
糖尿病・内分泌内科	午前 重本				第2・4 当番医	
循環器内科	午前				高宮	
救急	午前 和田	城崎	和田	和田	渡邊	
	午後 城崎	横山	渡邊	横山(和田)	横山	
健診	午前 城崎	松村	横山	松永	城崎	久部
内視鏡	午前	当番医		当番医		
	午後	当番医		当番医		
CART	午前	渡邊	渡邊	渡邊		
	午後	渡邊	渡邊	渡邊		

■診療時間 平日 9:00~17:00  
土曜日 9:00~12:00

■休診日 土曜午後・日曜・祝祭日

■住所 〒811-1253 那珂川市  
仲2-8-1(ミリカローデン  
那珂川 北側)  
TEL:092-555-8835  
FAX:092-555-8975

■交通アクセス

コミュニティバス《かわせみ》「片縄線」  
「安徳線」[南駅・ミリカ線]ちくし那珂川病院前



二日市那珂川病院

■午前(診察時間/9:00~12:00)

診療科	月	火	水	木	金	土
外来	有田 竹中	重松 竹下 (糖尿病)	重松 松岡 (消化器)	重松 矢野 (循環器)	有田 宮村 (呼吸器)	重松(第1・3) 当番医(第2・4) 片桐(第5)

■午後(診察時間/13:00~17:00)

診療科	月	火	水	木	金	土
外来	片桐	有田 (糖尿病)	有田 (肝胆臓)	有田 (循環器)	片桐 (呼吸器)	休診

■診療時間 平日 9:00~17:00  
土曜日 9:00~12:00

■休診日 土曜午後・日曜・祝祭日

■住所 〒818-0072 筑紫野市  
二日市中央3-6-12  
TEL:092-923-2211  
FAX:092-925-0415

■交通アクセス

西鉄二日市駅(西口)より…徒歩約8分  
JR二日市駅より…徒歩約5分

